

遊休農地を活用してサツマイモ栽培

地域農業を支える農家の取り組み



「おかざき幸田さつまいも☆プロジェクト」は、3名のなす生産者がJAあいち三河管内（岡崎市・幸田町）の遊休農地を活用し、サツマイモを栽培している組織（栽培面積：2.3ha）です。遊休農地の荒廃防止や食料生産の増大、地域農業を守るために令和3年12月に発足。苗の定植時には環境負荷低減を目的に使用している生分解性マルチを使用するなどSDGs達成にも取り組んでいます。非耕作者から農地を活用して欲しいとの問い合わせも増えており、令和10年までに約5haの栽培面積増加を目指します。



▲おかざき幸田さつまいも☆プロジェクトのメンバー

また、サツマイモの袋詰めや干し芋への加工を管内にある福祉施設へと作業委託することで、生産者の作業効率を向上させるだけでなく障害者の社会参画に繋げています。



▲NPO法人アルクスの利用者が干し芋へ加工

おかざき幸田さつまいも☆プロジェクト

年間スケジュール

- 5月上旬～5月中旬 畦たて、マルチ張り
- 6月上旬～6月下旬 苗挿し
- 10月中旬～11月上旬
サツマイモ収穫
- 10月下旬
園児とのサツマイモ収穫体験
- 1月～3月下旬
NPO法人アルクス利用者と干し芋加工

取材対応

お電話いただく際に、希望日時をお伝えください。

（生産者の都合により、希望日にご対応できない場合や生産者が変わるなどの場合がございます。第2、第3希望も伺えましたら幸いです。）

<お問い合わせ> ※取材にお越しいただける際は、事前にご連絡ください。

JAあいち三河 総合企画部 企画広報課（担当：岡田）

TEL：0564-55-3034／070-2236-0783 E-mail：kouhou@ja-aichimikawa.or.jp

※この情報は、JAグループ愛知記者会、岡崎市政記者クラブにおいてプレスリリースしています。